

# みぞくちミニ新聞

発行元  
みぞくち

購読無料  
毎月発行

## 初動対応が命をつなぐ 救急救命法を学ぶ

11月28日、総社市消防署から救急救命士を招き、みぞくち職員は救急救命法を学んだ。

心肺が停止している人形（人形はもともと心肺停止しているんです）を二人一組で囲み、心臓マッサージ・人工呼吸の方法を実践した。胸の上から心臓に力を加えるには、胸を5cm沈めなければならぬ。さらに、決まったリズムで30回続ける。この決まったリズムとはちょうどアンパンマンの曲のリズムに近いそうだ。

そして、人工呼吸を2回。この繰り返しを救急車が到着するまで続ける。

さてここで問題です。心肺停止での救命率。日本はどのくらいでしょうか？と救急救命士。半分以上は助かるんじゃないの？と所長は安易に思った。しかし、あのデータでは、アメリカのシアトルは救命率が30〜40%、に対して日本は5%という数字が出ている。予想以上に少ない！この差は何から来ているかというのと、心肺停止の人が救急車を待つまでの間に、正しく救命法を施されたかどうかによるらしい。つまり一般市民が正しくその技術を身に付け、施せる状態にあるかどうかの違いにあるようだ。

みぞくちはたくさんの方が活動する場所。どんなことがあっても適切に対応する力が必要だ。概ね1時間の実技であったが、大変勉強になった。

皆さんも救急救命法の講習機会があればぜひチャレンジしてみてほしい。

### おもちの注文 承り中

11月に入り就労のもち作業も本格始動している。すでに店頭には多くの商品を入れている。多くのお客さんに美味しい笑顔をお届けしたい。

陳列し販売中。新年を控えお正月用のおもちの注文も順調に頂いている。今年はおもちを例年より多く仕入れていく。多くのお客さんに美味しい笑顔をお届けしたい。

まだまだご注文承りします。お正月はみぞくちのおもちで祝いましょう。

### 心安らぐフルートの音色

#### 誕生者のお祝い

みぞくちは34名の皆さんが利用されている。ほぼ毎月誕生者がいらつしやつて、昼食時にお祝いのバースデイソングとちよつとした贈り物をする。

11月も誕生者が3名いらつしやつた。いつものようにバースデイソングを歌い始めようとすると、綺麗な音色が聞こえてきた。何と本物のフルートの伴奏だ。誕生者のお祝いも華やかさが増した。

実は10月から勤めてもらっているパート職員さんが自前のフルートを奏でてくれていた。高校時代から吹奏楽に親しみ、今も演奏を続けているそうだ。

やはり本物は音楽でも素晴らしい。生の楽器演奏が日常で聞けるなんて、贅沢した感じ満載。これからも誕生祝はもちろんの事、いろんな場面で素敵な音色を響かせてほしい。

### 寒暖差に注意

#### 健康第一

11月も末になると、寒さが日に日に増してきた。8時前に出勤する所長も暖房の利いていない朝一番の屋内はとて辛いです。まず事務所に明かりをつけ、暖房を入れます。暫くすると、何か電話が入ってくる。多くは体調不良の連絡だ。職員もいれば利用者の方もいる。最近はずと夕の寒暖差

が激しいこともあり、風邪をひかれる方が多い。巷では「熱いあいつ（インフルエンザ）」の流行も騒がれている。風邪かな？と思ったら即受診し、必要に応じて療養をしてほしい。

今年度こそは、「熱いあいつ」に会いたくない！と所長は強く願う。